

令和元年10月20日  
今週のベストショット



青松園A 塩浜ジャガーズ 対 新町ウインズ

劇的サヨナラのための布石、ウインズ五番桐島選手の左中間へのHR。

写真：奈多サンデーズ 古賀 開

**青松園A 最終回、劇的サヨナラでウインズ勝利！**

塩浜ジャガーズ（5勝4敗1分）30300 6 小関、立石●ー猪野

新町ウインズ（6勝3敗2分）01403× 8 藤田○ー吉浦

HR：立石、末永（塩浜ジ）桐島（新町ウ） 盗塁：一ノ瀬（塩浜ジ）

秋の寒さを感じ始めた今日の試合は、序盤からゲームが動いた。一回表塩浜ジャガーズの攻撃は一番一ノ瀬選手が四球で出塁すると、二番石内選手がライト前ヒットで無死一三塁。初回からチャンスを作り、三番内田選手の犠飛で先制すると、四番立石選手が初球を右中間へ2ランHRを放つ。二回裏新町ウインズは、ランナーをためていきたい場面ではあったが五番桐島選手が左中間へソロHRを放ち、1点を返す。三回表塩浜ジャガーズは三番内田選手のレフト前、四番立石選手の死球などで二死ながらチャンスを作ると、六番末永選手の痛烈なゴロが三塁線を抜けるHRとなり、3点追加し小関投手を援護する。そのまま有利に試合を展開していきたいジャガーズだったが、三回裏ウインズは、一番泉（太）選手がライトへ安打を放ち出塁すると、連続四球で無死満塁。ここで四番吉浦選手の犠飛で1点を返すと、五番桐島選手のショート強襲安打で2点目、六番藤田選手の犠飛で3点目、七番永淵選手のライトへの安打でこの回4点を返す。1点を追う展開となったウインズは、五回裏四番吉浦選手からの攻撃は、途中交代の塩浜ジャガーズ立石投手の制球が定まらず、無死満塁となる。絶好のチャンスに七番永淵選手の犠飛で遂に同点。何とか同点で止めたいジャガーズだったが、サードの失策の間に2人が生還したところでタイムアップのゲームセット。両チームの打線の歯車が噛み合った試合展開だったが、最後に勝利の女神様を微笑ませた新町ウインズに軍配が上がった。（記事・写真：奈多サンデーズ 古賀 開）



両チーム気迫のこもったあいさつ。



ジャガーズ先発の小関投手。



新町ウインズ先発の藤田投手。



一回表、センター前ヒットを放つジャガーズ石内選手



一回表、ツーランホームランを放つジャガーズ立石選手。



二回裏、反撃のホームランを放つウインズ桐島選手。



2安打2打点と大事な場面で活躍したウインズ永淵選手。



本日3出塁のウインズ泉太一選手。



三回表、レフト前ヒットを放つジャガーズ内田選手



三回表、痛烈なゴロでのランニングHR、末永選手。



競った試合を楽しむウインズ内野陣。



最終回、ピンチに内野を集めるジャガーズ水流監督。

### 奈多グラウンド 雁ノ巣ライナーズ勝利

ブルーマーリンズ (1勝10敗) 2002 4 横山(祥) ●-横山(健)

雁ノ巣ライナーズ (4勝7敗) 2622 12 有馬○、中村-明瀬

2BH: 正内(雁の巣) 盗塁: 児玉(ブルー)

初回、ブルーマーリンズは、井上(紘)選手が四球、横山(健)選手も死球で出塁し、糸井選手、江頭選手のタイムリーで2点を先取！一回裏ライナーズは、明瀬選手、池内選手が連続ヒット。続く正内選手のタイムリー二塁打、久保田選手のタイムリーで2点を奪い返す。二回裏ライナーズは、横山投手が制球に苦しみ9つの四球もあり、一挙に6得点。三回裏、この日も四球と久保田選手のタイムリーヒットで2点を追加。四回表ブルーマーリンズは、ライナーズ中村投手に代わったところに児玉選手のタイムリーヒットで2点を追いつけるもゲームセット。(記事・写真: 和白新町パイレーツ 中島 孝志)



粘りのピッチング、雁の巣ライナーズ有馬投手。



制球に苦しむブルーマーリンズ横山選手。



一回表、先制タイムリーを放つ糸井選手。



タイムリーヒットを放つ久保田選手。



ライナーズが試合を制した。

## 雁レク軟式5 まさかの展開に！！

三苦フレンズ（8勝2敗1分）2000001 3 山口●ー佐藤（由）  
 三友クラブ（8勝3敗1分）000701X 8 矢野○、足立ー鳥山

2BH：松尾、秋吉（三友ク）

少し冷える中、試合開始を迎えたフレンズ対三友クラブ。初回フレンズは、二番山口選手の安打を皮切りに相手のエラーもあり幸先よく2点をリード。何とか、振出しに戻したい三友クラブナインを淡々とした表情で三回まで完璧に抑えるフレンズ山口投手。9つのアウトのうち6つを三振でとり、このままの展開が続くと思われたが、四回裏三友クラブが奇襲を仕掛ける。先頭の坂本結友選手がセーフティバントで出塁すると、後続の坂本歩夢、鳥山選手もセーフティバントで出塁し、無死満塁の大チャンス到来。守るフレンズも負けじと守備位置変更の策を練るが、五番中内選手から八番秋吉選手まで二塁打2本を含む四連打で一挙7点を返す。フレンズも何とか反撃したいが、テンポよく投球する三友クラブ矢野投手を攻めきれない。更に六回裏、三友クラブが1点を追加してリードを広げる。最終回、フレンズも負けじと1点を返すが試合終了。勝ちを重ねるフレンズには痛い一敗となった。（記事・写真：ソルトベ이스ターズ 坂本 皓祐）



三友クラブ先発の矢野投手。



リーグ屈指の好投手、フレンズ山口投手。



絶妙なセーフティバント坂本歩夢選手。



雰囲気の良い三友ベンチ。



無死満塁のチャンスで満面の笑み中内選手。



最終回登板の足達投手。



両チーム挨拶。